

# Weekly Report

## 小諸浅間ロータリークラブ



ロータリー:  
変化をもたらす

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 小池平一郎 ◆副 会 長 / 湯本 敏晴
- ◆幹 事 / 小林 秋生 ◆クラブ広報・情報委員長 / 依田 晋一



2017~2018 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1397 平成30年1月23日

◆点鐘	小池平一郎 会長
2SAA	青松 英和 委員
◆ソング	それどころロータリー
◆ゲスト	清水季志子様 (こもろ観光ガイド協会副会長)

### 【会長挨拶】 小池平一郎 会長

1月19日(金)小諸市文化協会創立30周年記念コンサートが文化会館ホールで開催され、ほぼ満席の盛況でした。

小諸市文化協会は昭和63年5月22日に設立総会が開かれ、小諸市内の文化・芸術団体が共に手を取り合って、市民の文化芸術の向上に寄与し、香り高い文化都市小諸を造り上げて行こうと産声をあげました。

当時、今は亡き小山宗一さんや教育長の依田公一さん、公民館長の小松定男さんが発起人の中心となり、市川皖章先生や高木智彦さんが加わり、スタートしたと伺っており、当時は加盟団体も100を超え、会員も2000名を超えていたそうです。

小松定男さんが初代の会長を務められ、二代目の会長が市川皖章先生で16年間活躍され、私が三代目の会長を務めています。

現在13部門、文芸・詩吟・謡曲・華道・茶道・美術・書道・写真・音楽・民謡・舞踊・三曲・自然芸道の72団体から成っており、790名程の会員で活動しています。皆様も趣味を活かして是非参加して頂ければと思います。

当日、出演をお願いしたフォレストという合唱団は全員が音楽大学そして大学院で研鑽を積まれた優れた音楽家達で、フォレストとしてBS日テレのテレビ出演を始め、各地でコンサート活動を展開しています。また各々の個人でも演奏活動を行ったり、オペラなどに出演したりして活躍しています。

小諸市文化協会は現在創立30周年記念誌を編纂中です。

今日は文化協会の宣伝になってしまいましたが、小諸浅間ロータリークラブと誕生年が一緒でしたので述べさせていただきます。

### 【幹事報告】 小林 秋生 幹事

#### 1. 関 邦則ガバナーより「会長エレクト研修セミナーPETS)

案内

日時 3月17日(土)・18日(日)

会場 ホテル中村屋 (塩尻市)

### 2. 例会変更

軽井沢RC	1月29日(月)	定刻受付あり
	2月26日(月)	定刻受付あり
上田RC	2月12日(月)	定刻受付なし
	3月19日(月)	定刻受付あり
上田西RC	2月8日(木)	定刻受付なし
	2月15日(木)	定刻受付あり
	2月22日(木)	定刻受付あり

### 3. 週報

南佐久、上田、上田東、上田六文銭RC

#### 【本日の配布物】

週報 1395・1396号

### ◆出席報告 渡辺 文夫 委員

会員数22名	出席義務者20名	免除者2名
本日	出席 15名	
	事前MU 2名	75.00%
前々回(1/9)	MU 0名	86.36%

### ◆ラッキー賞

NO. 14 鴨下 直哉 君

### ◆ニコBOX 加藤 輝男 委員

掛川興太郎君	鴨下さん、加藤さんご愛用有難うございます。
中河 邦忠君	清水様、卓話有難うございます。
鴨下 直哉君	2度もラッキー賞頂き有難うございます。今後共宜しく願います。
小林 秋生君	今季、初の大雪でしたが今日は大した事なくてよかったと思います。
小池平一郎君	清水さん卓話宜しく願い致します。小諸浅間RC30周年に向かって皆様宜しく願い致します。
新井 粒太君	清水さん本日はご苦勞様です。良いお話しありがとうございました。
加藤 輝男君	ニコBOX担当、初めてさせて頂きました。あまりうまく出来ませんでした。宜しく願い致します。
前田 博志君	大雪じゃなくて、よかったね。

次週のプログラム : 1月30日「創立30周年記念式典打ち合わせ

次々週のプログラム: 2月6日「小諸と味噌」信州味噌 社長 森 健 氏

## 【本日のプログラム】 「ガイド協会の現状と今後の課題」

こもろ観光ガイド協会 副会長 清水 季志子 様



ガイド協会が発足して22年目となり、私はガイド歴13年目の3期生です。現在登録ガイド24人中フル稼働できるのは10人程でしょうか。平成28年は案内件数480件で延べ572人のガイドが10,572人のお客様を懐古園・北国街道その他コースのご案内をしました。この他に4月～11月の土日休日の大手門で10,795人のお客様にご案内をしました。

今年度は財政上の理由から昨年4月より、お客様から頂くガイド料金の有料化の実施に踏み切りました。また、小諸でも観光局が発足し、これから観光局とガイド協会との関係がどうなるか不明ですが、ガイド自身の課題として各自の実力の開きが大きくなってきていることがあり、レベルの高

いガイドを目指して、人材を育てること、各自が勉強することが要求されていると思います。

本日は頂きましたお時間の中で、印象に残った2件の経験をお話しさせていただきます。

### 1. 小諸義塾卒業生 恩田経介氏

平成25年9月13日(水)東京農大名誉教授田村勝正先生他10人の皆様を小諸駅でお迎えし、調布歴史逍遙会の懐古園ガイドをしました。藤村詩碑の前では「昨日又かくありけり・・・」皆で朗読し、「惜別の歌」の前では昭和19年中央大学正が勤労動員された東京の陸軍第2造兵廠で、召集令状が届き次々と出征していく仲間を昼休みに冷えた番茶1杯と惜別の歌で送り出した思い出から、現在中央大学の学生歌となっている由来を田村先生が話して下さいました。

小諸義塾記念館内では東京農大講師・錦城学園同窓会理事であり錦城百三十年史編集委員である相馬登先生が2階のある写真の前で足を止められました。「この写真の恩田経介氏は錦城学校の卒業生ですが小諸義塾の卒業生でもあり驚いた。錦城学校の前身である三田英学校は藤村も入学していますから、小諸義塾の島崎先生の勧めで錦城中校に入学した可能性もありますね。少し恩田氏の事を調べて欲しい」と宿題をいただきました。

その時の記念館の説明文は「明治薬科大学初代学長の恩田氏は北大井小林保太の二男」となっていますが、私の手元にある小諸義塾卒業生の祖父から譲り受けた「小諸義塾と木村熊二先生」の門弟名簿には(旧小山)恩田経介氏となっています。正しいのはどちらか?疑問がわきました。小諸義塾の会など色々な方にお問い合わせして調べ、最終的に恩田経介氏の生まれた家を本家とする小山七郎さんに行き着きました。

その結果、武田氏家臣で小諸へ来た小山又四郎吉正を祖とする柏木上の小山一族の家系図並びに、経介氏が18歳の時に松代真田藩恩田木工の子孫であり明治薬学校創設者恩田重信氏の養子となり、錦城中校から一高、東京大学へと進学したことが明確になりました。小諸義塾で若き日の藤村に国語を学び終生師と仰いだそうです。小山さんからは先祖まつりで一族の皆さんが認識を新たにすると報告をいただきました。

三田英学校と錦城中校時代の著名人として、小諸浅間ロータリークラブ大井邦弘ロータリー義塾出身者のお二人の名前がしっかり載っています。小諸義塾記念館の説明文も「小山保太二男」に訂正されました。

### 2. 島根県松江藩家老の末裔同士の対面

平成26年5月17日(土)島根県出雲市の松浦さん・杉原さんご夫妻4人の北国街道ガイドをしました。軽井沢で結婚式に出席し信州を旅行して小諸に立ち寄られました。裏町の養蓮寺で松平藩松平不味公のお抱え力士であった雷電為右衛門(1767~1825)の袂鐘の説明をした時に、私の祖先が松江藩から松平憲良公に輿入れした姫(松平直政公息女)に随行して小諸に来た元松江藩士であることを松江藩というゆかりでお話ししました。柳田弾正という家老の弟だという記録が残っていることも話しました。

その後、平成27年8月1日「ブラタモリ」で、松江城下町の運河に一カ所だけ残っている舟入り(マイアリーナ)と柳田家老宅跡(現在は松江市管理地となっている)が放映され、一度訪ねてみたいと思っていました。小諸では想像できませんが、堀に面した屋敷は敷地に舟のガレージを持ち、水門を通って行き来したのだそうです。

一方、島根県では平成27年5月15日松江城が国宝に指定され、平成28年3月から4月にかけて、松江藩松平家初代藩主直政公(1601~66)が家臣の「柳田求馬」と「水谷源左衛門」に宛てた「ここもと替(松江~江戸間の移動)」を命ずる書状と、水谷家の祖先が直政公から拝領したお雛様が松江歴史博物館で展示されました。書状の持主である水谷家第14代水谷千枝子さんは松江から居なくなってしまった柳田を探しておられたそうです。展示されていた書状を見た杉原さんは、小諸に松江藩家臣の柳田の子孫が居たことを思い出し知人である水谷さんに知らせたそうです。

平成28年6月に突然水谷さんからお手紙をいただき、思いがけないご縁で、平成29年5月に私共兄弟3人で松江を訪れました。松江歴史館館長藤岡大拙さん(松江城を国宝にした功労者で雲の上の人です)に柳田家家老宅と舟入り跡や柳多の家系図なども見せて頂き、胸が熱くなる思いがしました。雷電は松江でも大事にされています。

10月には水谷さんご夫妻が来信され、松平直政公ゆかりの松本城をはじめ小諸城・上田城・松代城のご案内し、象山神社の裏手に水谷さんご主人のルーツ(明治時代祖父の代に分家して東京へ移動)があると捜したり、不思議なご縁をいただきました。

以上私事で貴重なお時間を頂きまして有難うございました。